

アジア国立公園会議の概要

(1) 名 称：第1回アジア国立公園会議

(The First Asia Parks Congress)

※ 保護地域を代表するものとして一般に知られている「国立公園」という言葉を用いるが、すべての保護地域（自然環境保全地域、国定公園、都道府県立自然公園、鳥獣保護区、ラムサール条約湿地、世界遺産、ユネスコエコパーク、ジオパークなど）を対象とする。

(2) 主 催：環境省、IUCN

(3) 会 場：仙台国際センター（宮城県仙台市）

(4) 開催期間：平成25年11月13日（水）～17日（日）（5日間）

※ 11月13日は開会式及び基調講演を夕刻に開催

(5) 対象範囲（国）：

東アジア、東南アジア、南アジアの各国



(6) 参加人数（想定）：500名（うち日本人300名）

(8) 言語：英語

※ 開会式、基調講演等は同時通訳（日英・英日）付き

(9) 目的：

- アジアの保護地域における成功例を世界に紹介するとともに、多様な関係者との関係を深める。
- アジア地域の経験を共有するとともに、世界全体への貢献を推進する。
- アジアの保護地域のための行動指針を定め、愛知目標の達成に向けた活動を推進する。
- アジアの保護地域関係者の能力向上を推進する。
- 2014年の世界国立公園会議において、アジアの視点・意見を発信する。

※ 三陸復興国立公園をはじめとする我が国の国立公園及び国立公園制度について海外に紹介する機会としても活用。

(10) テーマ：

人と自然、人と人、保護地域と保護地域の外部をつなげるという趣旨を込めて、「国立公園がつなぐ (parks connect)」とする。

(11) 成果物（想定）：

アジア国立公園会議準備会合（平成23年11月）における議論を踏まえ、アジア国立公園会議では、次の4つの成果物を作成・合意することを目指す。

- アジア地域の国立公園など保護地域についてのパートナーシップ
- アジア保護地域憲章
- アジアの保護地域についての現状並びに進捗状況の報告
- 自然災害への対応などアジア地域の重要課題に関する声明

(12) ホームページ：<http://asia-parks.org/>